

福利厚生ギフト 好調



勤続表彰や誕生日記念に贈られているサンエツのギフト＝富山市新屋

サンエツ

人手不足が叫ばれる中、企業が社員に感謝を伝える手段の一つとして、ギフトの価値が見直されている。矢野経済研究所(東京)がまとめた24年のギフトの国内市場規模は1兆1880億円、前年比2.7%増を見込む。新型コロナウイルスの流行で落ち込んだ20年以降伸びている。

サンエツでは福利厚生ギフトの売り上げが全体の1割を占める。24年5月～25年4月の販売額は6200万円、利用客は延べ2千人

人材定着へ企業需要増

サンエツ(富山市新屋、板川信夫社長)の福利厚生向けギフトが売り上げを伸ばしている。人材定着に向け、誕生日記念や永年勤続表彰のギフトを贈る県内企業からの需要が増えている。在宅勤務など働き方の多様化に伴い、企業と社員との対話が減る中、コミュニケーションの重要性が再び見直されている。

とやま経済

福利厚生ギフトランキング

誕生日ギフト	永年勤続表彰
1 アイスケーキ	カタログギフト
2 カタログギフト	時計・盾など記念品
3 特産品の箱詰め	酒器・茶器セット

※サンエツ調べ

構造物検査・診断のアイベック(富山市中田)は、社員と家族を招くイベントの開催に加え、サンエツからギフトを仕入れて社員に渡している。さまざまな施

店内スペースで電車・バス待ちをアルビス16店舗

アルビスは3日、県内16店舗で、電車やバスの利用者が店内で待つことができるサービスを開始する。県内の事業「でんしゃ・バスまち店舗」に協力し、地域交通の利用促進につなげる。協力店舗はグリーンモーター、大田、呉羽東、婦中、速星、八尾(富山市)、丸の内、美幸町、米島、中田、戸出(高岡市)、黒部、黒

策の効果が見られ、過去3年間は離職者がいない。同社は年一回、社員の希望日に4千円相当のギフトを贈っている。30年間続いていた制度で、従来は図書カードのみだったが、ニーズの多様化を踏まえ、20年から社員の家族も楽しめるよう、フラワーアレンジメント、焼き肉、アイスクリームなどの食券から選べる方式に切り替えた。24年には、子どもが成人を迎えた社員に10万円を贈る制度も始めた。

東出悦子社長は「社員の家族からお礼のメッセージが来ることもあり、仲が深まるきっかけになっている」と手応えを感じている。

10年未満の企業が全体の4割を占めた。同支店は政府の中小企業の資金繰り支援策が縮小、終了したことを踏まえ「物価高や人手不足、人件費の増加が収益を圧迫し、企業を取り巻く環境は一層厳しさを増している」とした。6月の集計も発表。件数は前年同月比1.1件減の8件、負債総額は87.0%減の1億8300万円だった。

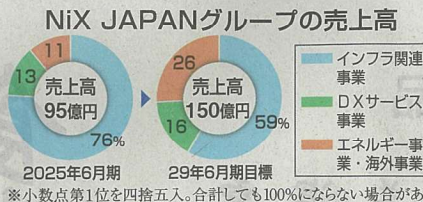
事業の2社がある。グループの企業数が増え、事業領域も拡大してきたことから、経営資源の最適配分や、迅速な経営判断を行うための統括会社を設け、新体制とした。

中計では、海外のエネルギー事業を成長の柱に据えた。海外売上高比率は現在の11%から、29年6月期に26%まで拡大させる。インフラ関連事業も、上下水道や橋りょうなどの調査、更新需要の取り込みを図る。

NiX JAPAN

持ち株会社制へ移行

4年後売上高150億円に



総合建設コンサルタント、エネルギー事業のNiX JAPAN(富山市奥田新町、市森友明社長)は7月から、持ち株会社制に移行した。経営の統括会社であるNiX JAPANグループ(東京を設立し、グループ22社をまとめる。新体制で海外事業の拡大を図り、2029年6月期までの中期経営計画では、最終年度にグループの連結売上高を150億円、営業利益を20億円とする目標を掲げた。

NiX JAPANは、土木構造物や上下水道をはじめとするインフラの設計、コンサルティングが主力。16年には海外事業に着目し、インドネシアで水力発電、太陽光発電、LPG(液化石油ガス)販売などエネルギー事業を手がける。

県内倒産40件 4年連続増加

前期負債総額は減 帝国データバンク富山支店は2日、2025年上半期(1～6月)の県内企業倒産集計(負債1千万円以上)を発表した。件数は40件(前年同期34件)、負債総額は42億5200万円(同48億4800万円)。旅館経営の喜泉閣黒部市、

25年6月期の連結決算は、売上高が前年比11%増の95億円、営業利益が45%増の8億円を見込んでいる。コンサルなどインフラ関連事業は、積極的にM&A

(合併・買収)を進めたこととで国内9社体制となった。エネルギー事業を担うのは、インドネシア現地法人など海外8社と国内3社。このほか、DXサビ

10年未満の企業が全体の4割を占めた。同支店は政府の中小企業の資金繰り支援策が縮小、終了したことを踏まえ「物価高や人手不足、人件費の増加が収益を圧迫し、企業を取り巻く環境は一層厳しさを増している」とした。6月の集計も発表。件数は前年同月比1.1件減の8件、負債総額は87.0%減の1億8300万円だった。

会員の賃上げ支援

県商工会議所連合会

県商工会議所連合会(会長・庵原伸富山商工会議所会頭)が2日、富山市のANAクラウンプラザホテル富山で総会を開いた。出席者は、持続的な賃上げの原資確保に向けた支援などを盛り込んだ2025年度事業計画を承認した。

県内八つの商工会議所の会頭、専務理事が出席。庵会長は「関税問題がはつきりせず、貿易立国・日本として悩ましい。賃上げも経営に」と述べ、事業計画で

「ケアほけっと勤怠」の画面イメージ



介護現場のシフト管理

HCS 勤怠管理新サ

北陸コンピュータ・サービス(HCS、富山市婦中町島本郷、小嶋達也社長)は、介護・福祉事業者向けのクラウド型勤怠管理サービス「ケアほけっと勤怠」の提供を始めた。早番や夜勤など複雑な勤務形態に対応し、公平なシフトを組みやすくすることで、離職防止につなげてもらう。

介護施設では、早番や遅番、夜勤、兼務などさまざまな勤務形態や勤務の条件があり、シフトの調整が難しく、希望する休日に偏りが出ることが課題となっている。帳票の作成が煩雑なため一般的な勤怠管理システムでは対応が難しく、紙やエクセルでの手作業が主流という。

同社は介護業界に特化した設計のサービスを開

部市)、となみ(砺波市)、市、宇奈、小矢部市、大島、みずの杉(射水市)の各店。店舗内のイトインスペースを待ち合い場所として

開放する。スなどを使って近くへの駅や表、運行状況ポスターを掲を高める。

年金定期預金開始 北銀利率0.5% 厚生年金の受給に指定した人利率は多くの「スーパ」0.265%となる。預け1年で、金額を上げてもらう。